

**農業振興に関する
農業者アンケート調査**

報 告 書

【概要版】

平成26年3月

長野市農業委員会

目 次

1 調査の概要	2
2 アンケート調査結果	
・ 回答者の属性・農業形態・後継者について	3
・ 農地について	7
・ 作物について	10
・ 10年後の農業経営について	12
・ 集落営農について	15
・ 消費者の皆さんが重視していることについて	16
・ 農業の担い手について	18
・ 長野市の今後の農業について	21
・ 大学との連携について	24
・ 農業や農村が果たす役割について	25
・ 農業政策について	26

1 調査の概要

(1) 調査の目的

市内農業者の現状や今後の見込み、農業政策に対するニーズなどを調査し、長野市のこれからの農業のあり方や長野市農業振興条例の制定に向けて研究を進め、市の農業施策に関する基礎資料とする

(2) 調査対象

長野市の農家基本台帳に登録されている、10アール以上の農地を耕作している農家

(3) 標本の抽出

農家基本台帳からの無作為抽出

(4) 標本総数

5,000人

(5) 調査方法

アンケート調査票送付（返信用封筒を同封）によるアンケート調査方式

アンケート調査票発送後、回収率を向上させるため、協力をお願いするはがきを郵送

(6) 調査期間

平成26年2月28日（金）から3月14日（金）まで

(7) 回収結果

有効（送達）標本数	4,996件
無効（未送達）標本数	4件
回収標本数	3,727件
有効標本回収率	74.6%

(8) 報告書の見方

- ① 図表中の「n」（Number of caseの略）は、設問に対する回答者の総数を示しており、回答者の構成比（%）を算出するための基数である。
- ② 図表中の構成比は、原則として百分率で表記した。百分率の値は、小数点第2位以下を四捨五入している。したがって、内訳の合計が100%にならない場合がある。
- ③ 複数回答を求めた設問では、回答が2つ以上あり得るので、比率の合計が100%を超える場合がある。
- ④ 設問中の選択肢の文字数が多いものについては、本文中や図表中において、便宜上短く省略している場合がある。

2 アンケート調査結果

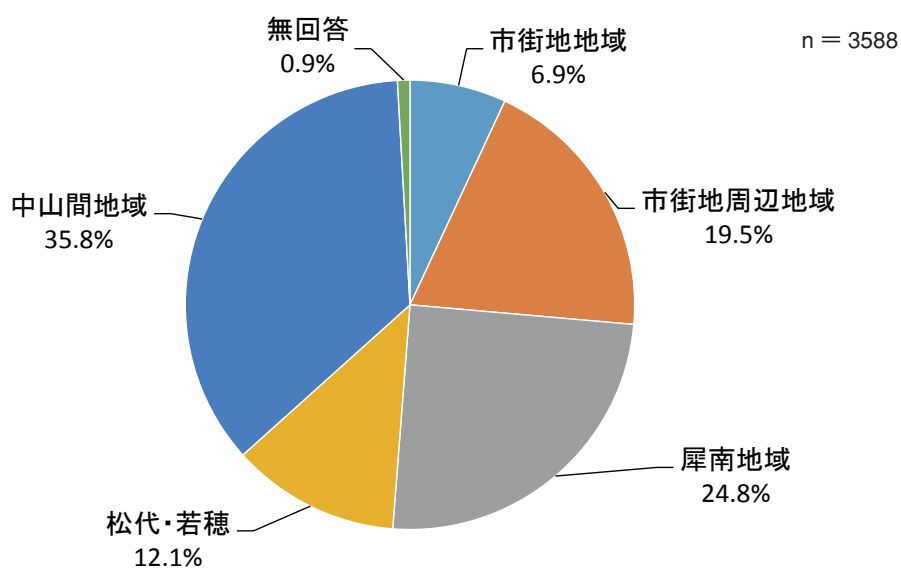
◎回答者の属性・農業形態・後継者について

問

1

あなたのお住まいの地区を教えてください。
次の中からお住まいの地区の番号に○をしてください。

「中山間地域」35.8%で最多、以下「犀南地域」24.8%、「市街地周辺地域」19.5%と続いた。



地域区分別構成

地域区分	地区名
市街地地域 (10 地区)	第一地区、第二地区、第三地区、 第四地区、第五地区、芹田地区、 古牧地区、三輪地区、吉田地区、安茂里地区
市街地周辺地域 (7 地区)	古里地区、柳原地区、大豆島地区、 朝陽地区、若槻地区、長沼地区、豊野地区
犀南地域 (3 地区)	篠ノ井地区、川中島地区、更北地区
松代・若穂 (2 地区)	松代地区、若穂地区
中山間地域 (13 地区)	浅川地区、小田切地区、芋井地区、 篠ノ井 信里、松代 西条・豊栄、若穂 保科、 七二会地区、信更地区、戸隠地区、鬼無里地区、 大岡地区、信州新町地区、中条地区

※篠ノ井、松代、若穂の一部、及び浅川地区を中山間地域として集計

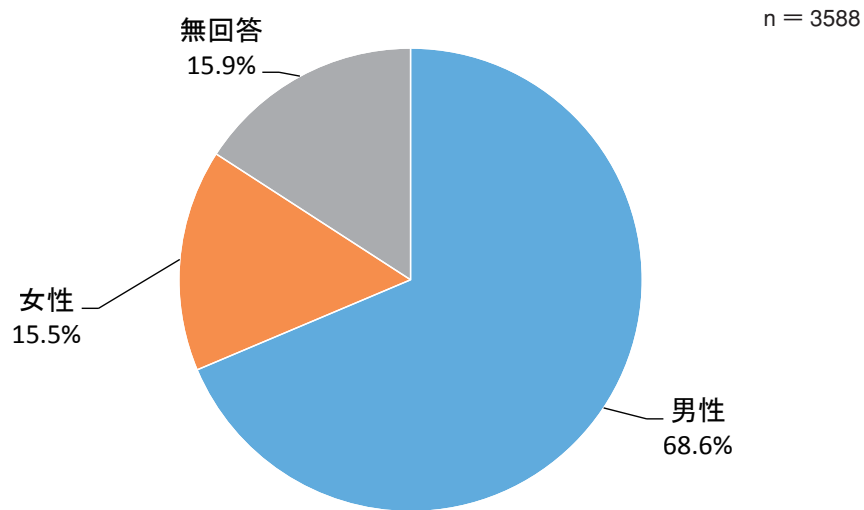
問

2

あなたの年代、性別を教えてください。
次の中からあてはまる番号に○をしてください。

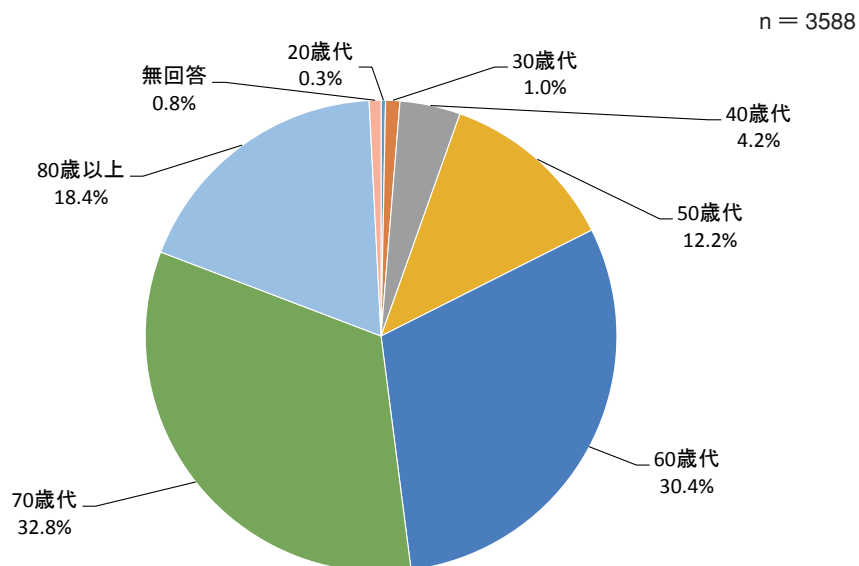
性別

「男性」が68.6%、「女性」は15.5%であった。



年代

「70歳代」が32.8%で最多、以下「60歳代」30.4%、「80歳以上」18.4%、「50歳代」12.2%と続いた。

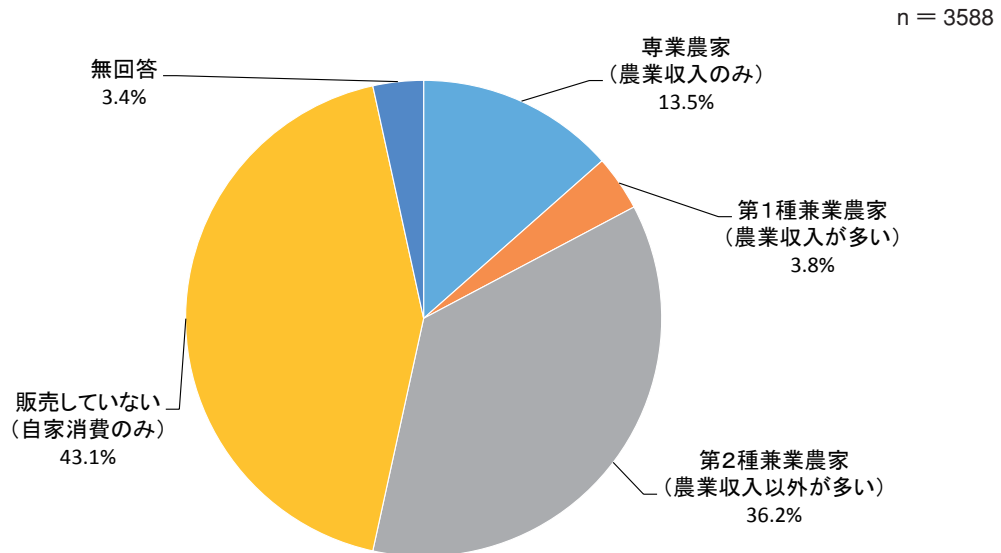


問

3

あなたの農業形態は次のどれですか。
1つだけ選んで番号に○をしてください。

「販売していない（自家消費のみ）」が43.1%で最多、次いで「第2種兼業農家」36.2%だった。「専業農家」は13.5%であった。

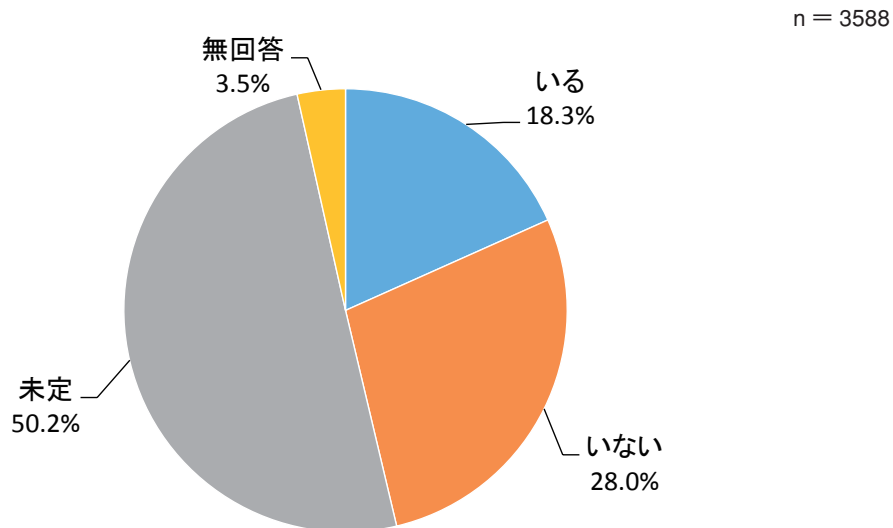


問

4

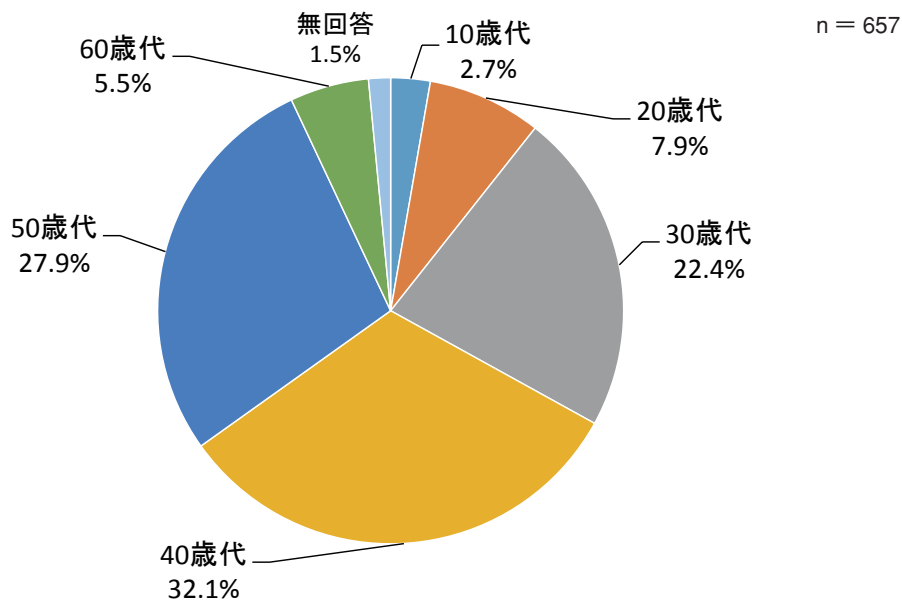
あなたの農業経営に後継者はいますか。
次の中から1つだけ選んで番号に○をしてください。

「未定」が50.2%と最多、以下「いない」28.0%、「いる」18.3%と続いた。



■後継者の年代

後継者の年代は「40歳代」32.1%で最多、以下「50歳代」27.9%、「30歳代」22.4%と続いた。



◎農地について

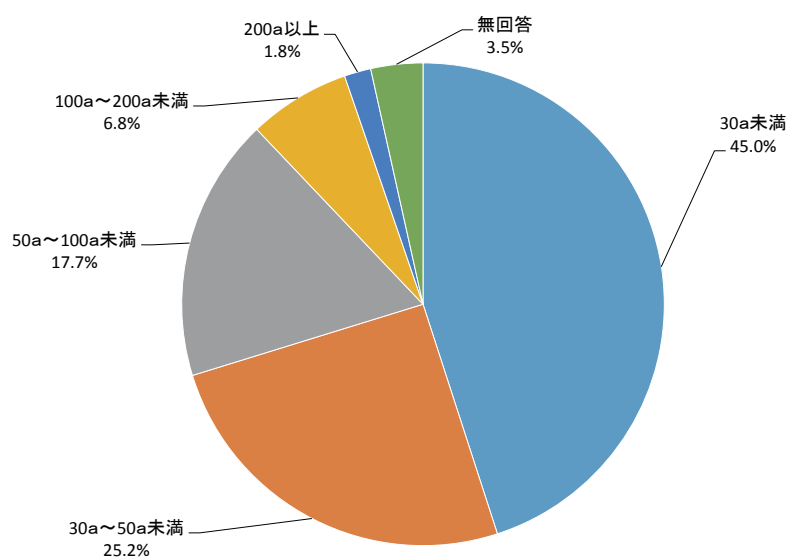
問

5

あなたの農業経営耕地面積をお答えください。
次の中から1つだけ選んで番号に○をしてください。

「30 a 未満」が45.0%と最多、以下「30～50 a 未満」25.2%、「50～100 a 未満」17.7%と続いた。
「200a以上」は1.8%であった。

n = 3588

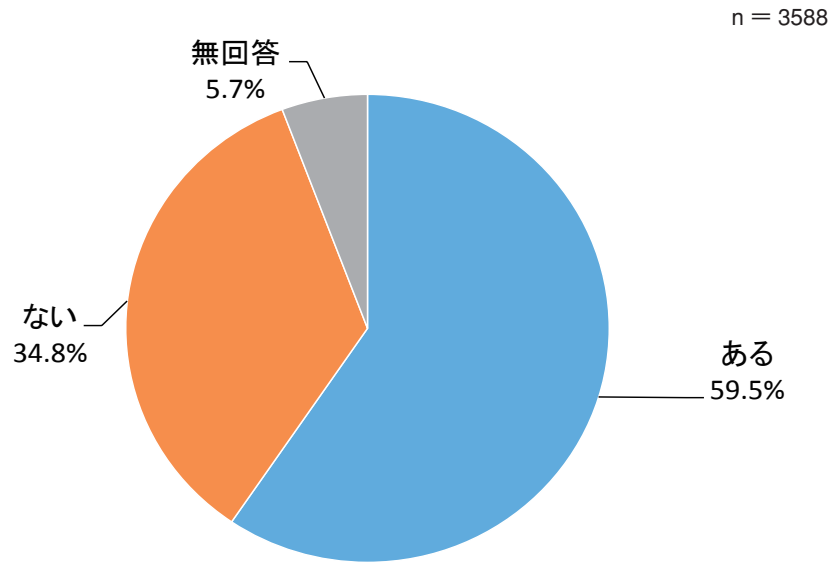


問

6-1

あなたが所有している農地で耕作していない農地はありますか。
次の中から1つだけ選んで番号に○をしてください。

「ある」と答えた人が59.5%、「ない」と答えた人は34.8であった。

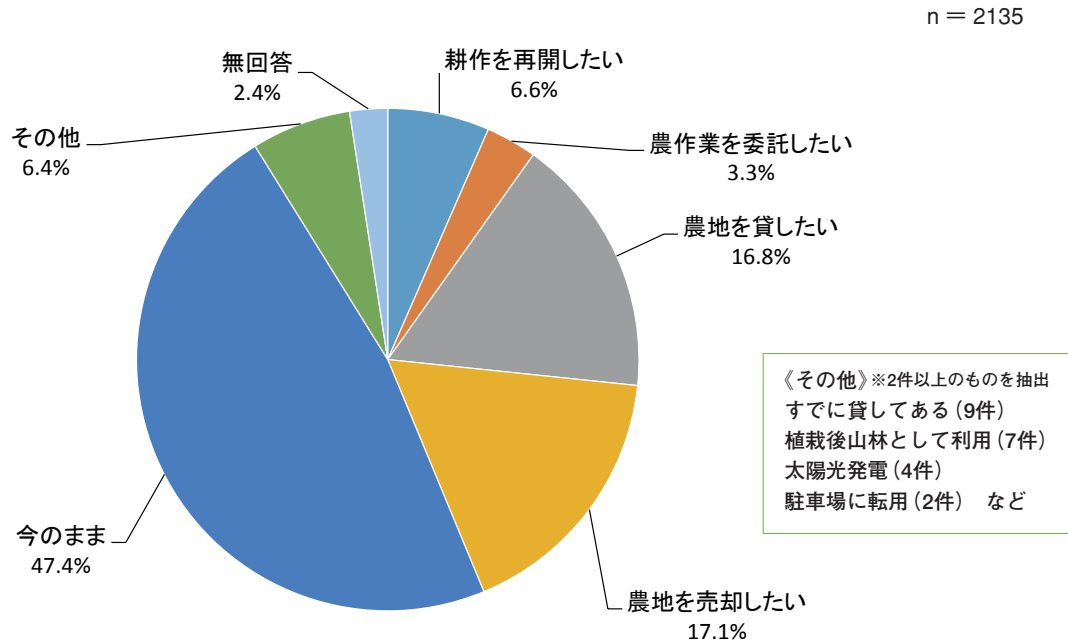


問

6-2

耕作していない農地が「ある」と答えた方にお聞きします。今後、どのように利用していきたいですか。次の中から1つだけ選んで番号に○をしてください。

「今のまま」が47.4%と最多、以下「農地を売却したい」「農地を貸したい」がともに17%前後と続いた。



◎作物について

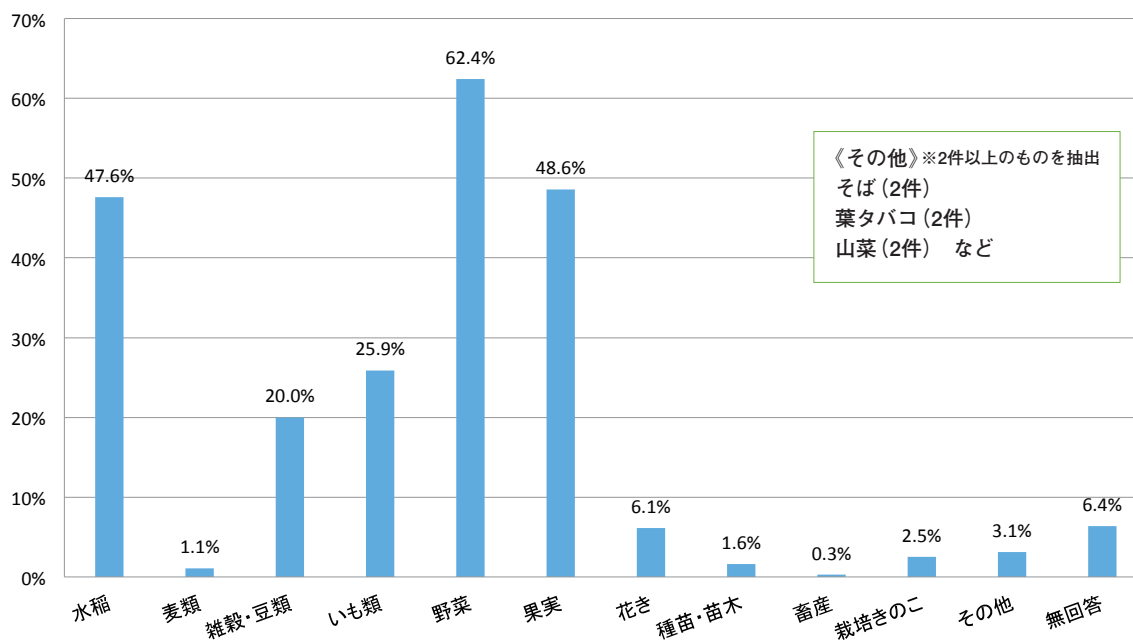
問

7

あなたが生産している作物はどれですか。

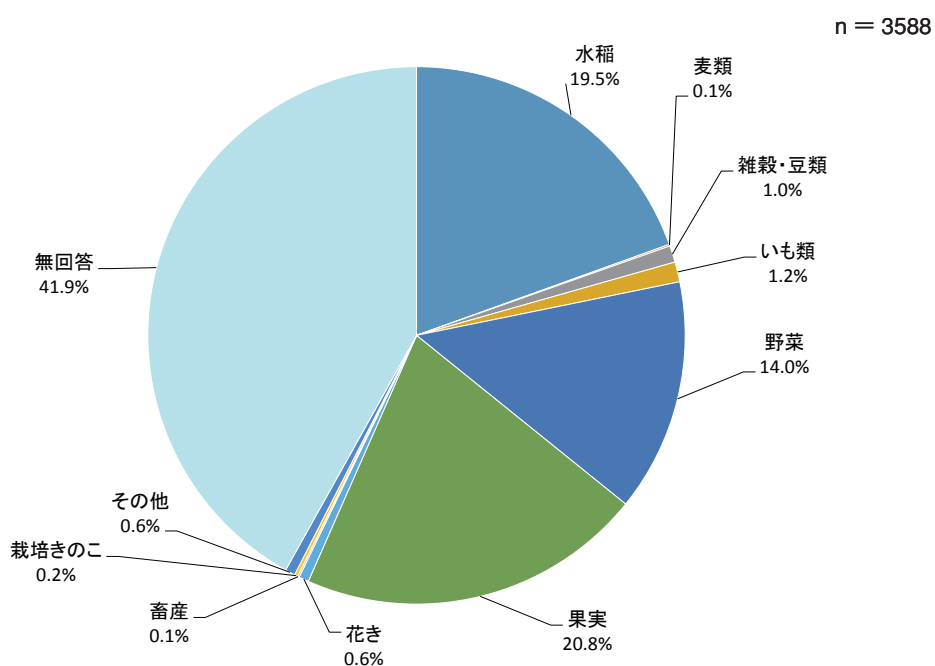
次の中からあてはまるすべての番号に○をして、主に営んでいる作物名を1つご記入ください。

全体では「野菜」が62.4%で最多、以下「果実」48.6%、「水稲」47.6%と続いた。



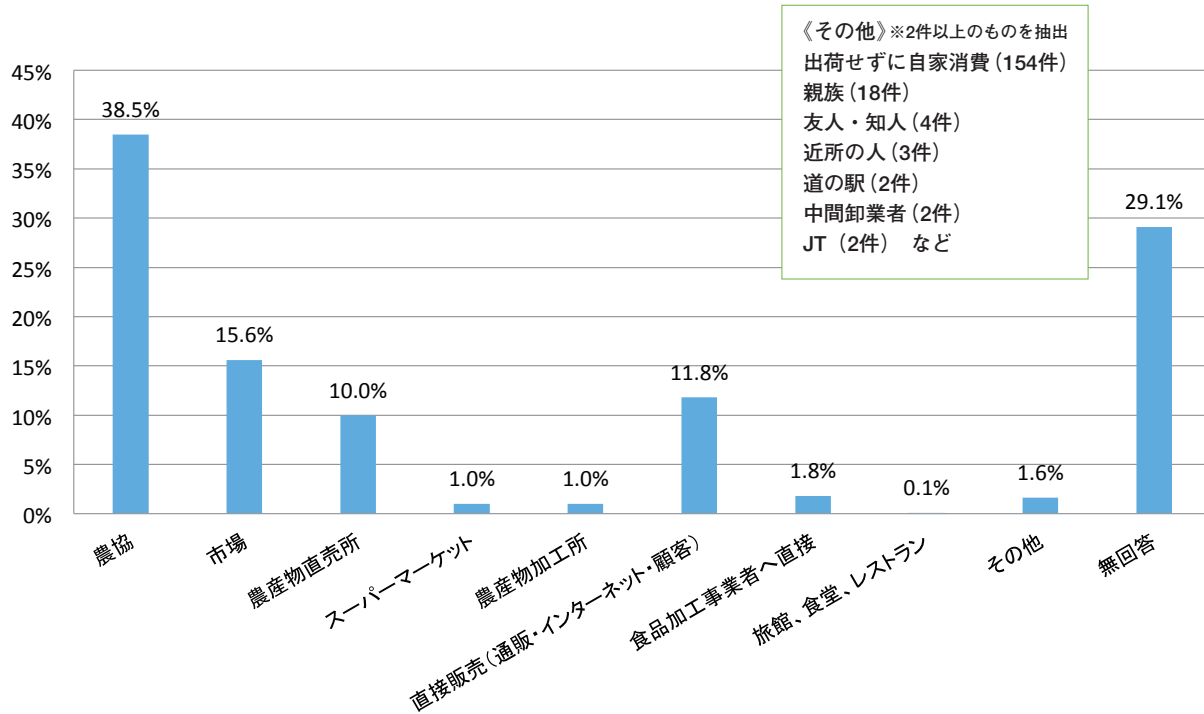
■主に営んでいる作物

主要作物では、「果実」が20.8%と最多、以下「水稲」19.5%、「野菜」14.0%と続いた。この3種で54.3%となり、無回答と合算すると96.2%であった。



あなたの主な農作物（販売額が最も大きな作物）の主要出荷先はどこですか。
次の中から3つ以内で選んで番号に○をしてください。

「農協」が38.5%で最多、次いで無回答をのぞき「市場」15.6%であった。その他の内訳は、「出荷せずに自家消費」が154件、「親族」が18件であった。



*農産物直売所……スーパーマーケットの地元の農産物販売コーナーを含む。

◎10年後の農業経営について

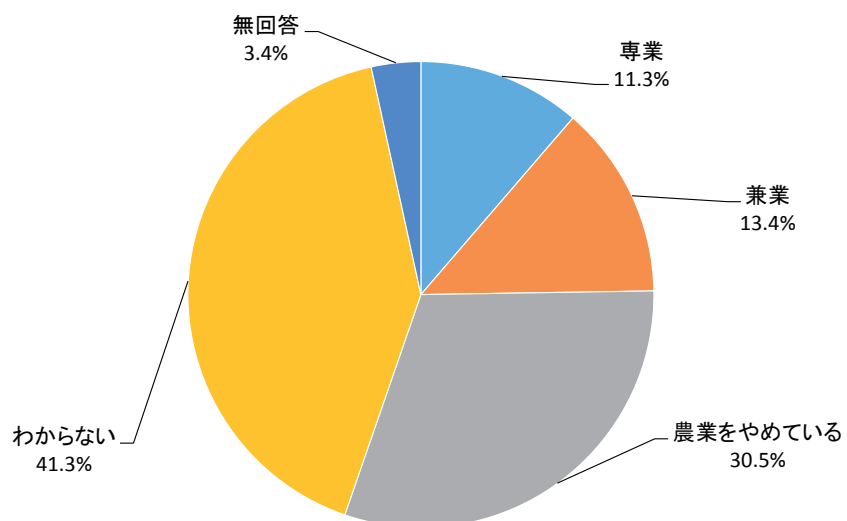
問

9-1

あなたの10年後の農業経営形態はどのようになっていると思いますか。
次の中から1つだけ選んで番号に○をしてください。

「わからない」が41.3%で最多、次いで「農業をやめている」30.5%であった。

n = 3588



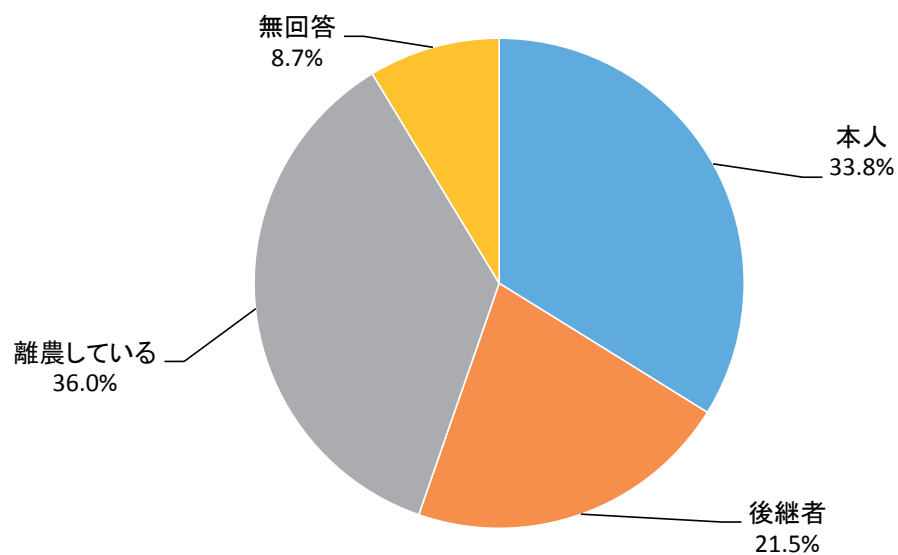
問

9-2

あなたの家の10年後の農業経営の主体はどなただと思いますか。
次の中から1つだけ選んで番号に○をしてください。

「離農している」が36.0%で最多、以下「本人」33.8%、「後継者」21.5%であった。

n = 3588

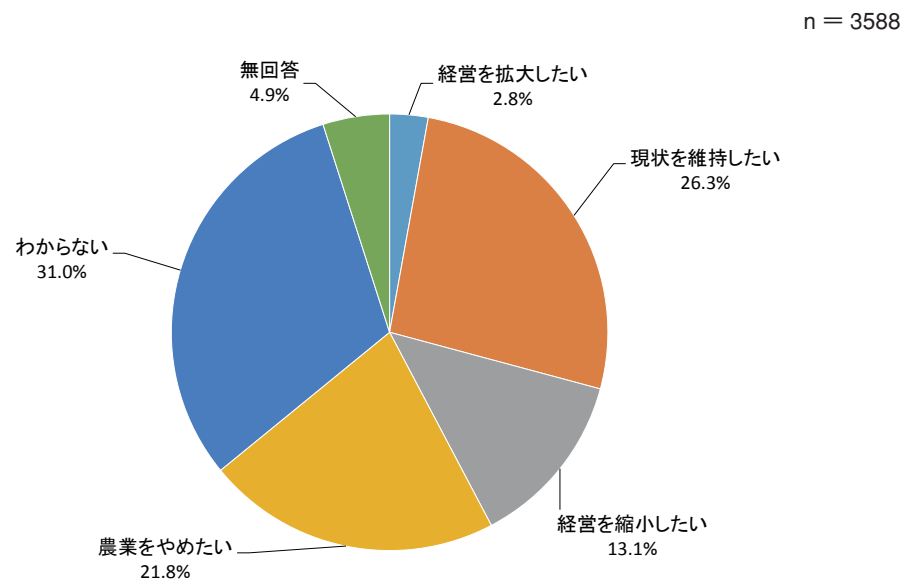


問

9-3

あなたは、10年後の経営耕地の規模について、どのようにお考えですか。
次の中から1つだけ選んで番号に○をしてください。

「わからない」が31.0%と最多、以下「現状を維持したい」26.3%、「農業をやめたい」21.8%であった。



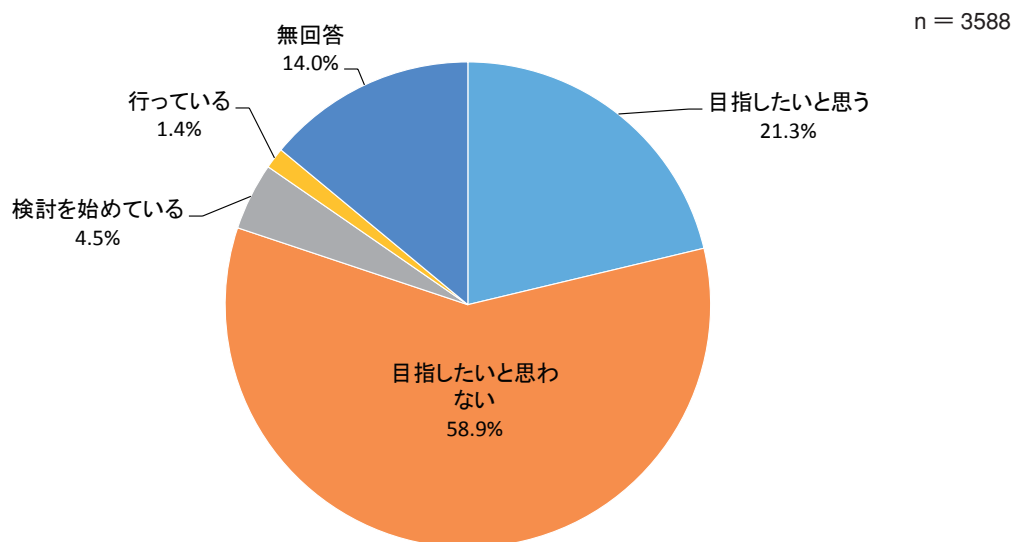
◎集落営農について

問

10

あなたは、集落営農（農家が農業生産について共同で取り組むこと）を目指したいと思いますか。次の中から1つだけ選んで番号に○をしてください。

集落営農を「目指したいと思わない」が58.9%と最多、2番目は「目指したいと思う」が21.3%であった。



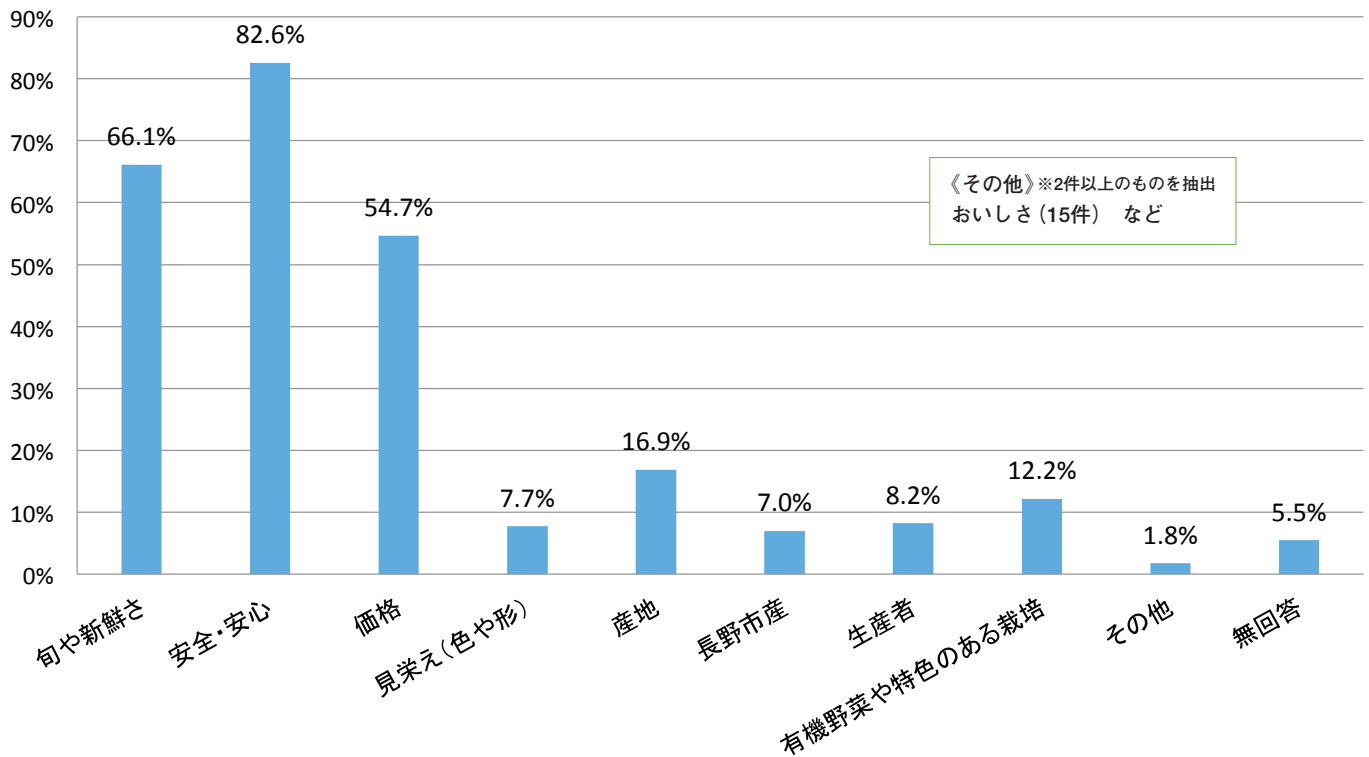
◎消費者の皆さんが重視していることについて

問

11-1

あなたは、消費者の皆さんが何を重視して農産物を購入していると思いますか。
次の中から3つ以内で選んで番号に○をしてください。

全体では「安全・安心」が82.6%で最多、以下続いて「旬や新鮮さ」66.1%、「価格」54.7%と続いた。

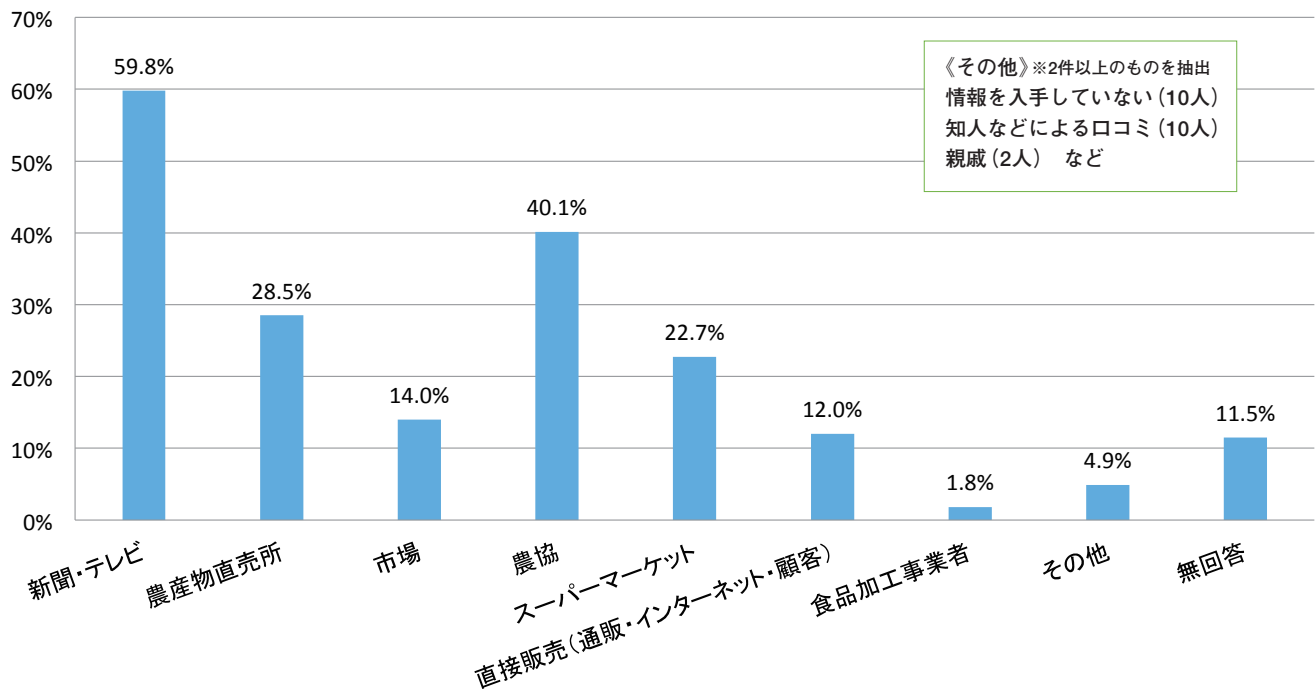


問

11-2

あなたは、どこから消費者の情報を入手していますか。
次の中から3つ以内で選んで番号に○をしてください。

全体では「新聞やテレビ」が59.8%で最多、次いで「農協」40.1%であった。



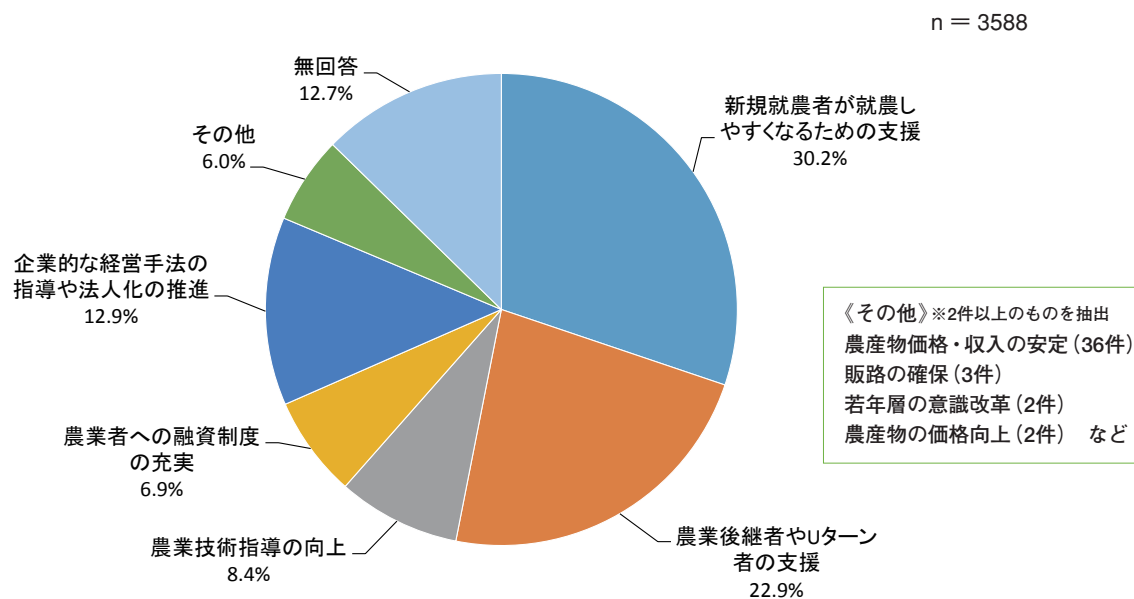
◎農業の担い手について

問

12

あなたは、農業の担い手の確保や育成のためには、何が重要だと思いますか。
次の中から1つだけ選んで番号に○をしてください。

「新規就農者が就農しやすくなるための支援」が30.2%で最多、次いで「農業後継者やUターン者の支援」が22.9%であった。この二つの回答を合計すると53.1%となった。

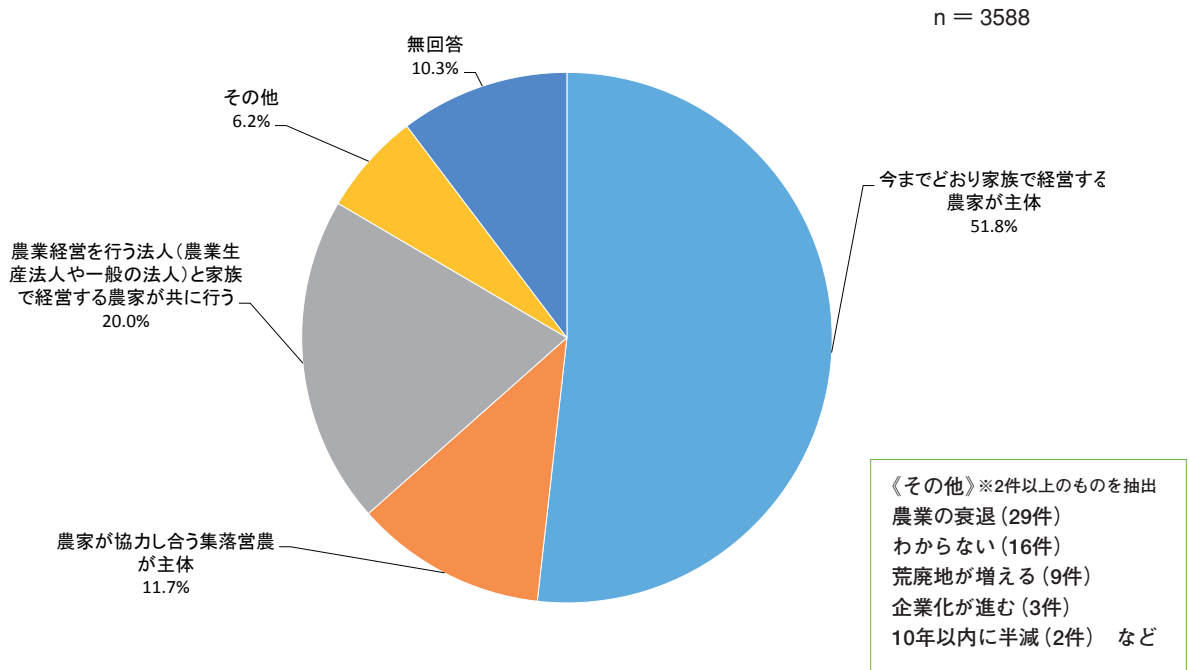


問

13

あなたの地域の農業は、今後どのように変わっていくと思いますか。
次の中から1つだけ選んで番号に○をしてください。

「今までどおり家族で経営する農家が主体」が51.8%と最多であった。

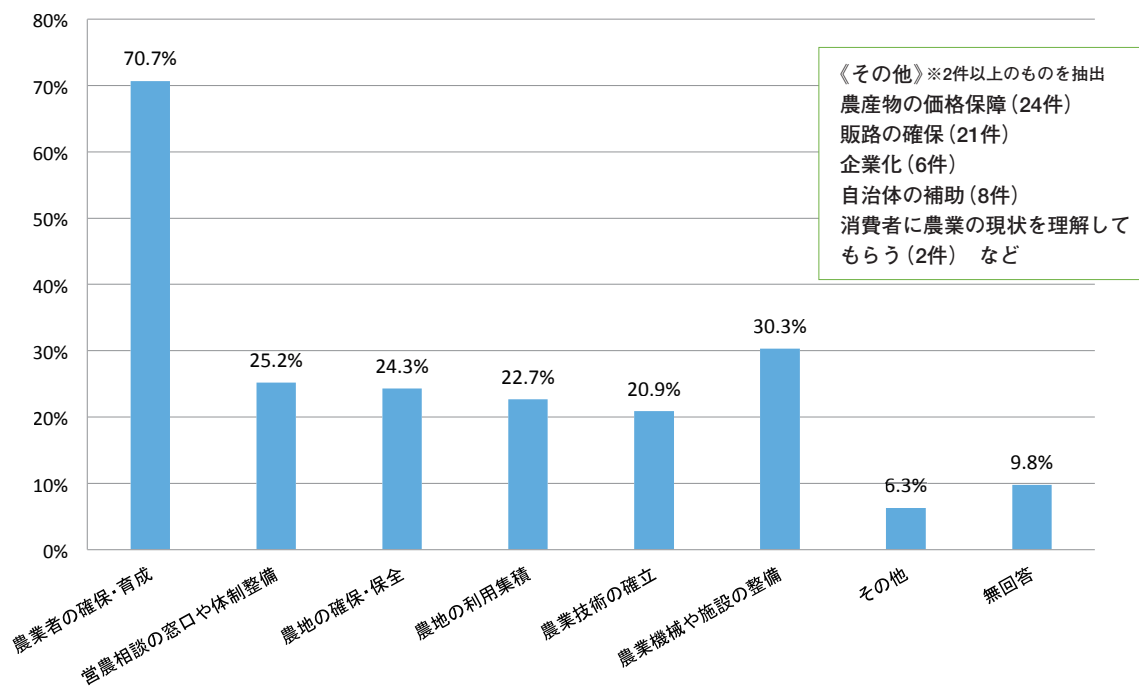


問

14

あなたは、地域の農業が存続していくうえで、何が一番重要であると思いますか。
次の中から3つ以内で選んで番号に○をしてください。

「農業者の確保・育成」が70.7%で最多、次いで「農業機械や設備の整備」の30.3%であった。その他の回答で「農産物の価格保障」や「販路の確保」に20件以上の回答があった。



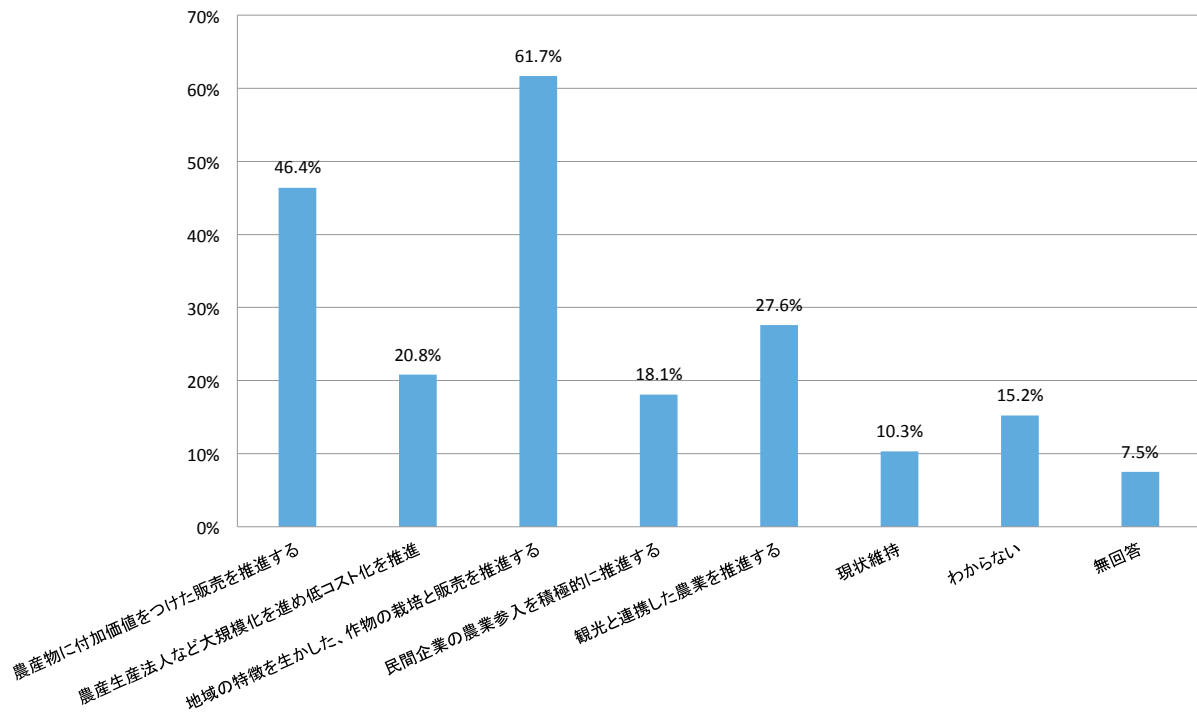
◎長野市の今後の農業について

問

15

あなたは、10年後の長野市の農業は、どのようにしたら良いとお考えですか。
次の中から3つ以内で選んで番号に○をしてください。

全体では「地域の特徴を生かした作物の栽培と販売を推進する」が61.7%で最多、次いで「農産物に付加価値をつけた販売を推進する」が46.4%であった。

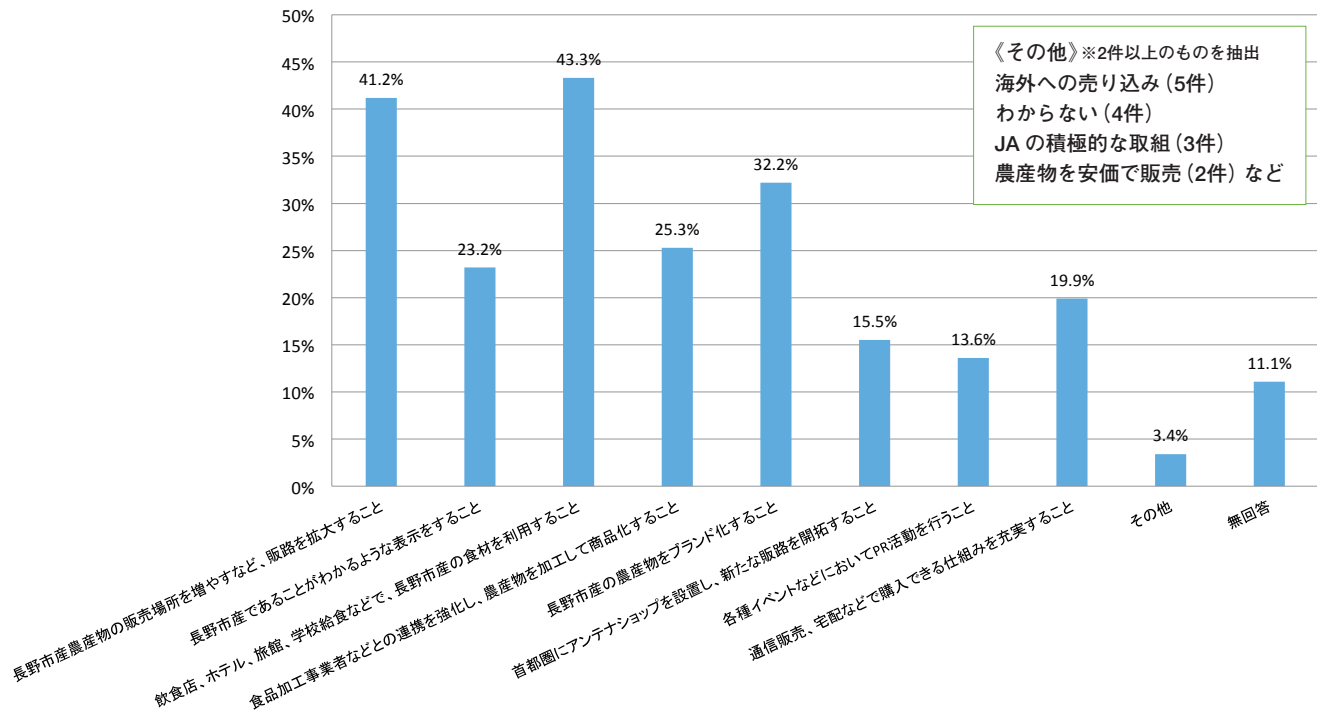


問

16

あなたは、長野市産農産物の販売を促進するために、どのような取組が必要だと思いますか。次の中から3つ以内で選んで番号に○をしてください。

「飲食店・ホテル・旅館・学校給食などで長野市産の食材を利用する」が43.3%と最多、以下「販路の拡大」41.2%、「長野市産の農産物をブランド化する」32.3%と続いた。

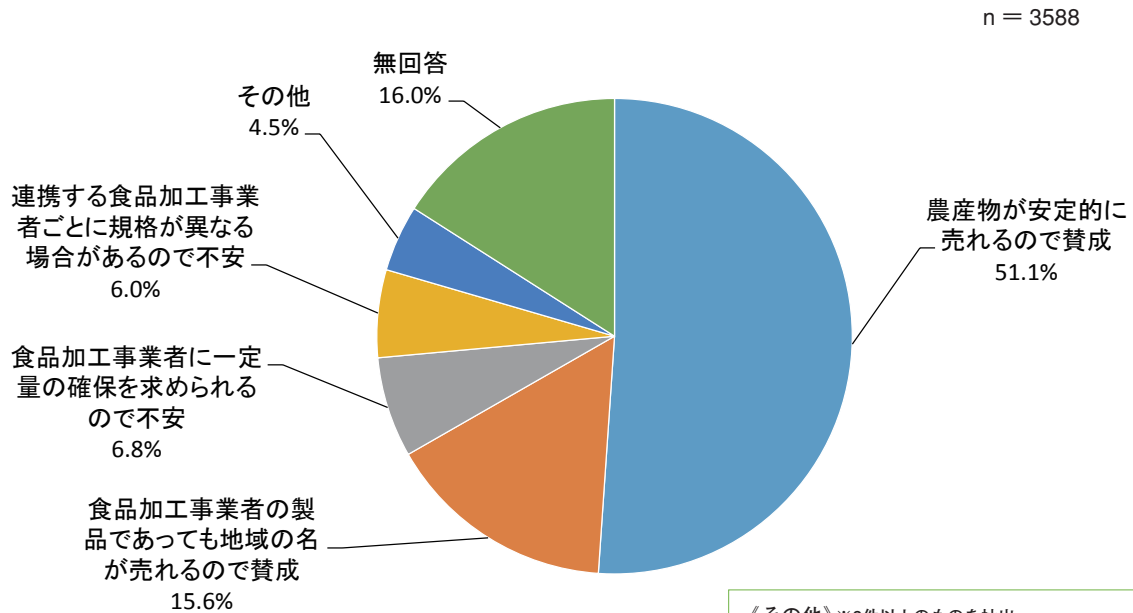


問

17

あなたは、食品加工事業者等と連携して、長野市産の農産物を生かした商品開発を進めていくことをどう思いますか。次の中から1つだけ選んで番号に○をしてください。

全体では「農産物が安定的に売れるので賛成」が51.1%と最多、「食品加工事業者の製品であっても地域の名が売れるので賛成」が15.6%と続いた。上位2項目を合わせると賛成が66.7%となった。



《その他》※2件以上のものを抽出
わからない(11件)
農産物価格が安くなるので連携には反対(7件)
加工食品は地域性が薄れるので反対(2件)
小規模農家には不利(2件) など

◎大学との連携について

問

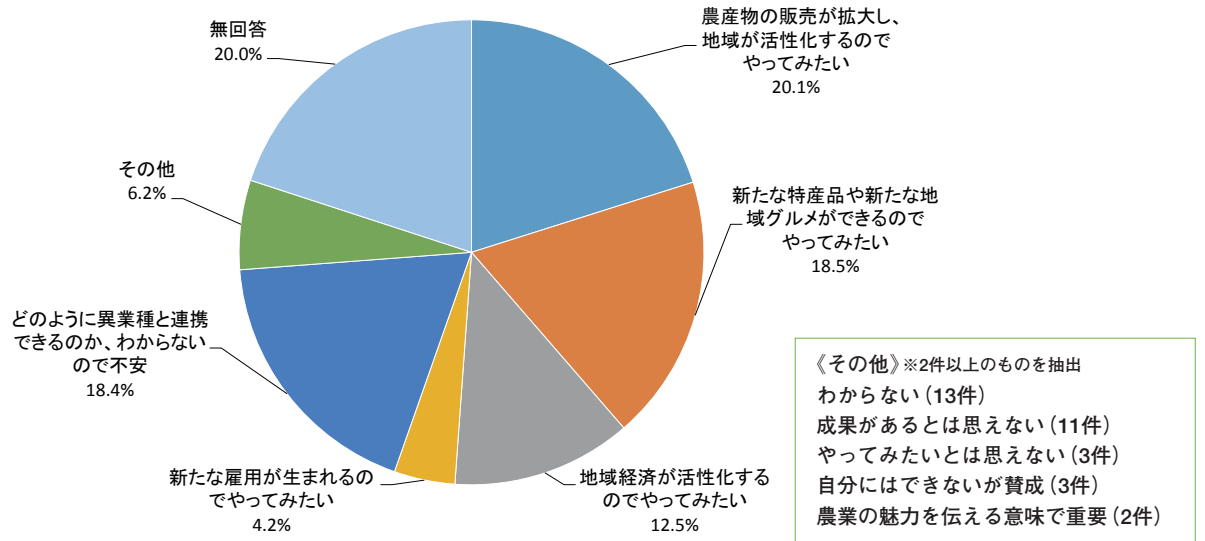
18

あなたの地域で大学と連携し、地域資源を生かして、商品づくりを行うことをどう思いますか。
次の中から1つだけ選んで番号に○をしてください

「農産物の販売が拡大し、地域が活性化するのでやってみたい」が20.1%と最多、「新たな特産品や新たな地域グルメができるのでやってみたい」が18.5%と続いた。

「やってみたい」の合計は55.3%となり、過半数を上回った。

n = 3588



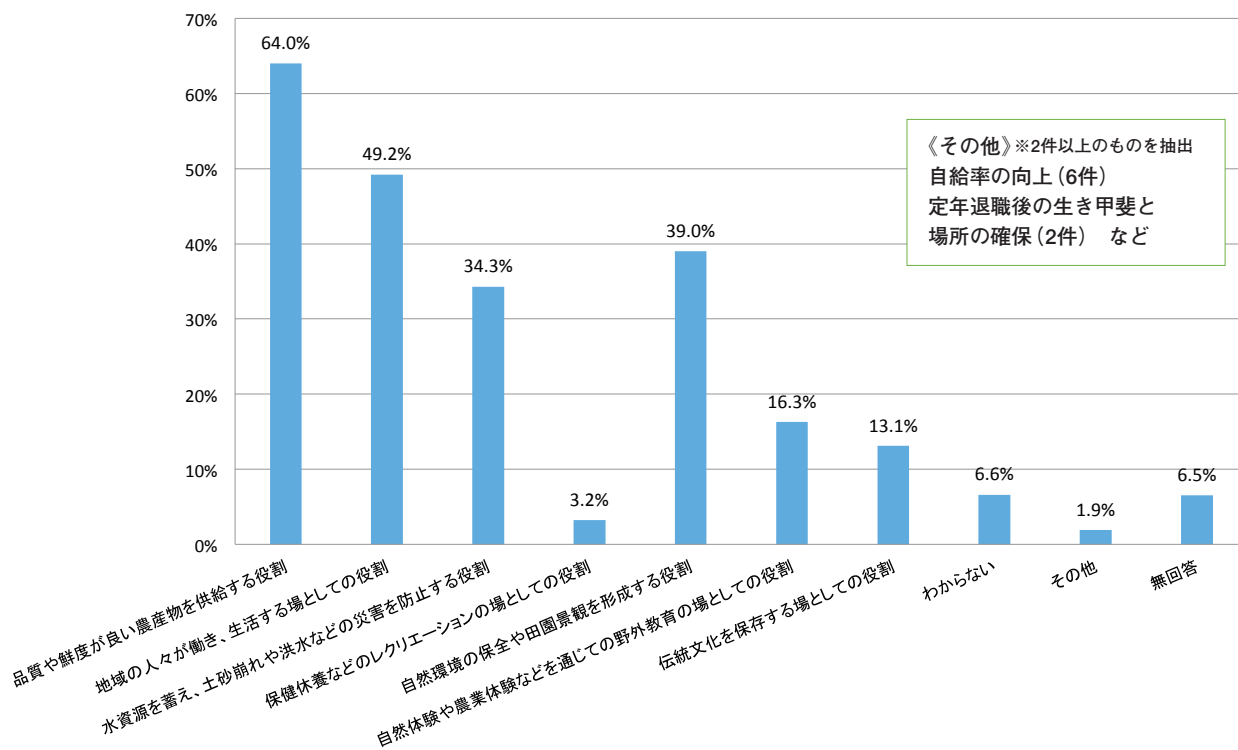
◎農業や農村が果たす役割について

問

19

あなたは、農業や農村が果たす役割として何が重要だと思いますか。
次の中から3つ以内で選んで番号に○をしてください。

全体では「品質や鮮度が良い農産物を供給する役割」が64.0%と最多、「地域の人々が働き、生活する場としての役割」が49.2%と続いた。



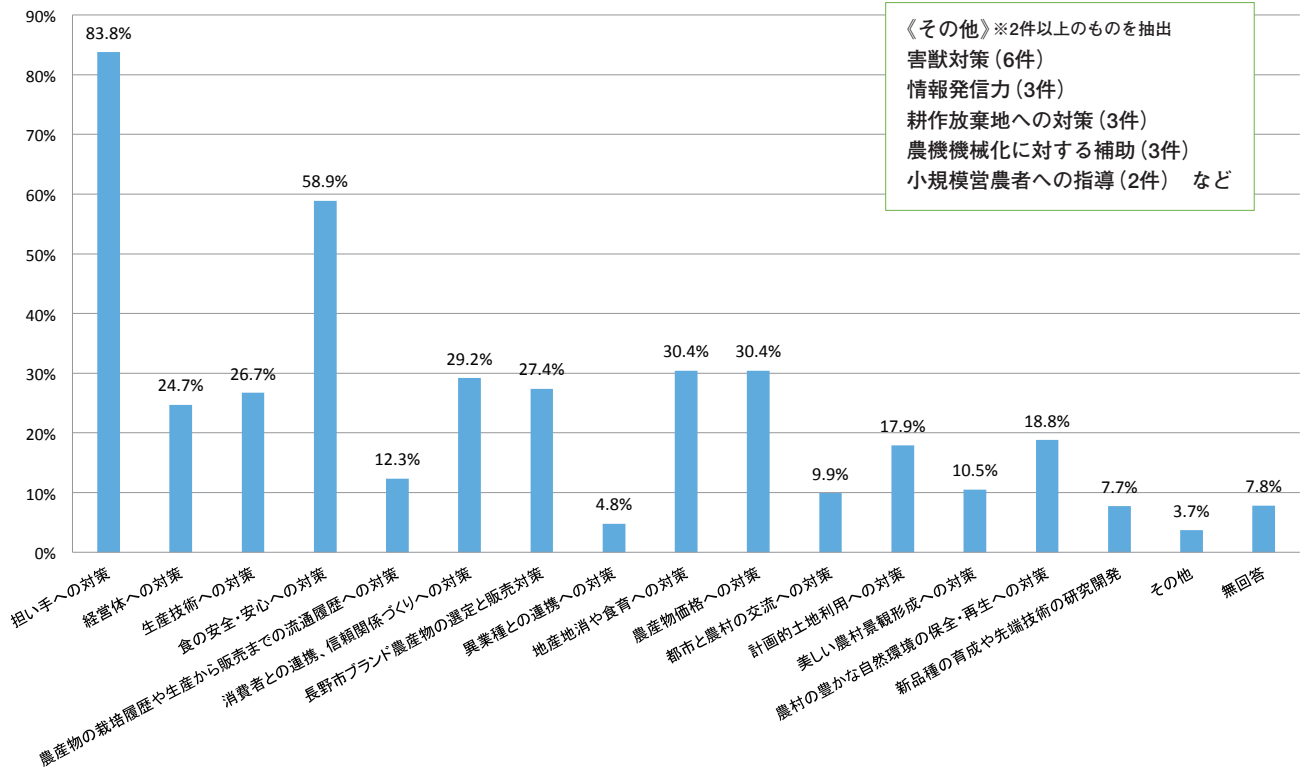
◎農業政策について

問

20

生産者の立場から長野市の農業政策に期待することはどんなことですか。
次の中から5つ以内で選んで番号に○をしてください。

全体で「担い手への対策」が83.8%で最多、「食の安全・安心への対策」が58.9%と続いた。他の項目も20%を超えているものが多かった。



平成 26 年 3 月発行

発行：長野市農業委員会

長野市大字鶴賀緑町 1613 番地 電話 026 (224) 5060 (直通)
e-mail :nougyou@city.nagano.lg.jp
<http://www.city.nagano.nagano.jp/>

集計：有限会社 オフィスエム
